

山口市芸術家育成支援事業

第10回やまぐち新進アーティスト大賞

第10回やまぐち新進アーティスト大賞受賞者

すずき けいじろう
鈴木 啓二郎

応募アーティスト数 : 9名

最終選考ノミネート者 : 9名

さえき かずあき 佐伯 和章	(43)	ささき のりこ 佐々木 範子	(45)
すずき けいじろう 鈴木 啓二郎	(36)	たかはし もとすけ 高橋 基介	(31)
にしざわ ゆう 西澤 佑	(23)	ぴびり ロベルト	(57)
もりみつ あさこ 森光 亜紗子	(38)	やまと けいた 大和 佳太	(32)
やまね 山根 みどり	(56)		

(50 音順・敬称略、年齢基準日：審査日)

(総 評)

10 回目の節目となった今回は、絵画、工芸、写真、現代美術の 9 人がノミネートされた。出品されたどの作品も、それぞれ真摯に取り組む作家の姿勢が見て取れて、審査会における議論は白熱した。

これからのアートは、その発想、技法・技術、素材の点においてますます多様化してゆくだらう。この記念の回の審査を行いながら、伝統的なものも革新的なものも共生しうるアートの自由で多彩な世界が、山口で育ってゆくことを願った。

(第 10 回やまぐち新進アーティスト大賞審査委員会審査委員長 斎藤郁夫)

(やまぐち新進アーティスト大賞選評)

鈴木啓二郎氏は、審査会では3点を展示した。写真で提示されたインスタレーションとは異なる方法だったので、空間的な魅力が出ていない部分があった。それぞれの作品は身近なメディアを用いながら、ユニークな解釈によるコンセプトな作品であるが、端的な造形による魅力が感じられる。たとえば「風に吹かれて見える風景…」は旗が何気なく展示されているのだが、その布には青空の写真が印刷されていて、旗から空そして想像の空間へまた、風が吹けば、天空の風を感じさせるように、無限の想像世界へと見る人を誘う。

作る人の意思と見る人の想像力が自由にコミュニケーションされる作品であり、かつ洗練された造形性によって、大賞に相応しいと考えた。今後の作品にも期待したい

(第10回やまぐち新進アーティスト大賞審査委員会審査委員 水谷由美子)

・・・第10回やまぐち新進アーティスト大賞審査委員会審査委員・・・

足立 明男 (山口情報芸術センター館長)

石崎 泰之 (山口県立萩美術館・浦上記念館副館長)

兼原 啓二 (山口短期大学教授)

斎藤 郁夫 (山口県立美術館副館長)

水谷由美子 (山口県立大学国際文化学部長)

大和 保男 (陶芸家)

(50音順・敬称略)